

遠藤金融庁長官

G20/OECD コーポレートガバナンス・セミナー閉会挨拶（仮訳）

2019年6月8日（土）13:00-15:30

於：ヒルトン福岡シーホーク

本日の2セッションにわたる大変有意義な議論に感謝いたします。

国際的な経験の共有と協働について

セッション1では、2015年に改定されたG20/OECDコーポレートガバナンス原則を踏まえた、各国、国際機関によるコーポレートガバナンス充実の取組みとその成果が共有されました。国ごとに制度・環境の違いはありますが、コーポレートガバナンス深化の取組みを進めるに当たり、こうした諸外国の成功事例は大いに参考となるでしょう。

日本ではコーポレートガバナンス改革が5年間という短期間で目覚ましい成果を挙げ、企業の姿勢を大きく変えたことは、麻生大臣や登壇者からも言及があったとおりです。

しかし、我々は満足していません。企業の経営判断の質は向上しているか、投資家と企業の対話を通じて、新しいアイデアやより良い経営に対する示唆が与えられているか、そうした実質的な側面により焦点を当てて、改革を進めていきたいと考えております。

投資家と企業の建設的な対話のためには、従来の財務情報にとどまらず、非財務情報を含めた情報開示の充実も有効であると考えております。我々も、経営方針や経営戦略について、特に経営者目線での開示を行う等、開示の充実をはかる取組みを進めております。また、今後、スチュワードシップ・コードのさらなる改訂を検討しております。登壇者から共有されたアイデアも参考にしつつ、改革の深化に向けた取組みを進めていきたいと考えております。

国内における改革に加え、日本は OECD と連携して、アジアを中心とした諸国に対するコーポレートガバナンス普及のための支援にも力を入れております。日本と OECD が毎年共催するアジア・ラウンドテーブルは、各国間の知見の共有や当局者・研究者間のネットワーク醸成を行っております。また、個別国についても、現在ミャンマーにおいて進められておりますとおり、その国にあった制度設計を支援するプロジェクトも進めており、アジアのコーポレートガバナンスの向上にも貢献していると自負しております。

新興国におけるコーポレートガバナンスの発展は、今後、新興国、先進国のいずれにとっても重要なものです。新興国においては、企業がグローバルな資金プールにアクセスする機会を拡大させることとなるでしょう。先進国にとっては、成長著しい市場への投資機会が増えるでしょう。そのようになれば、適切な資源配分と成長の果実のシェアが、グローバルに進んでいくのではないのでしょうか。

資本市場の構造変化と今後のコーポレートガバナンスについて

セッション 2 では、変化し続ける資本市場の現状及び課題についてどのように対応するか、示唆に富んだご議論を頂きました。

OECD による興味深い分析が示しておりました通り、この 10 年ほどで市場は様変わりしました。従来、スタートアップ企業は、上場を一つのゴールと定めて経営努力を重ねて来ましたが、近年、欧米先進国市場においては、上場企業数が減少し、ベンチャー企業は新規上場ではなく買収・合併を志向しているとの指摘もあります。

公開市場は、一般の家計を含む幅広い投資家に対し、企業に投資し、その成長の果実を享受する機会を提供することができます。市場が引き続き、企業にとっても投資家にとっても魅力的なものであり続けることはできるのでしょうか。またそのためには何が必要でしょうか。今後に向けての検討課題が共有され、新たな知恵が必要であることが明らかになったと言えるのではないのでしょうか。

また、かつて、アセットマネージャー達は市場でアクティブな投資戦略を競っていました。しかしながら、近年、運用技術の巧拙による超過収益を得ることが難しくなっており、機関投資家はパッシブ投資を選好するようになりました。彼らの運用資産の増大と相まって、ファンドマネージャーによる運用はパッシブ投資が圧倒的な割合を占めるようになったと指摘されているところです。

パッシブ投資を担うアセットマネージャーは、低コストで運用を行うという要請に応える必要がある一方、投資資産の売却という選択を取り得ません。このため、投資先企業の中長期的な成長を求めるインセンティブはむしろ強まっているとも言えるでしょう。投資先企業への理解を深め、持続的成長に資する議決権行使を行うためには、建設的な対話を続けていくことが、地道ながらも重要な方策であると考えております。

結語

市場の相互依存性が高まる中、コーポレートガバナンスにかかる課題も、今まで以上にグローバルに共有されることが見込まれます。今後、各国・機関で取組みの経験と課題をシェアし、議論することがますます重要となるでしょう。今日のような協働が続くことを期待しております。